

”新型コロナウイルス感染症に
対応するために”
～日常の感染対策の確認～

旭川赤十字病院 感染管理室
感染管理認定看護師 市川ゆかり

新型コロナウイルスが含まれ
ているもの

唾液

鼻汁

喀痰

便

感染の侵入門戸

目

鼻

口

感染の排出門戸

鼻

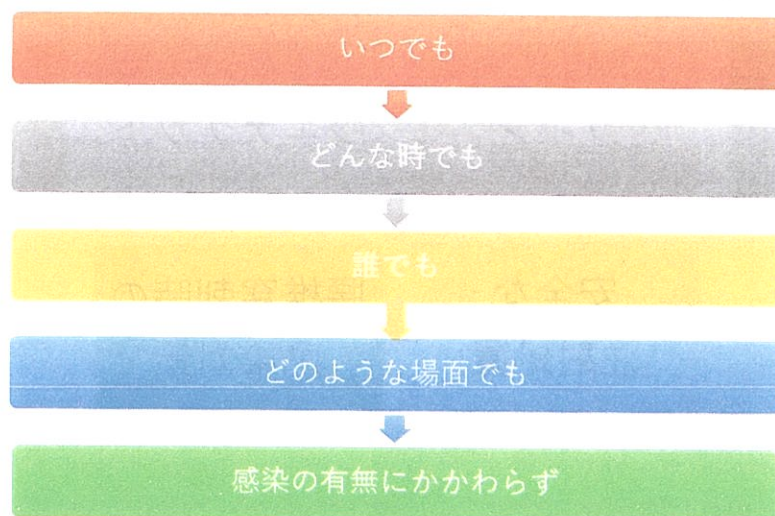
口

肛門

患者さんだけがウイルスを排出しているわけではないことを理解し、対策を実施しているか
日常も感染対策が適切に実施されてかが問われている

日常の感染対策：標準予防策

全ての湿性生体物質は、「何らかの感染性を持っている可能性がある」という概念を前提にした対策の総称



標準予防策

湿	全ての血液
性	汗を除く体液・分泌物・排泄物
生	
体	創傷のある皮膚
物	
質	全ての粘膜

標準予防策に含まれる内容

手指衛生

个人防护具

患者ケアの使
用した器材

環境対策

針刺し予防策

リネン

咳エチケット

患者配置

安全な
注射処置

腰椎穿刺時の
感染対策

ウイルス量を少なくする対策

鼻・口から排出す
るウイルス

直接、鼻・口から
入ってくるウイル
ス

手に付着する
ウイルス

環境に存在するウ
イルス

物に付着するウイ
ルス

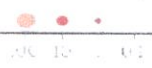
ユニバーサルマスク

お互いが直用することが重要

Masks reduce airborne transmission

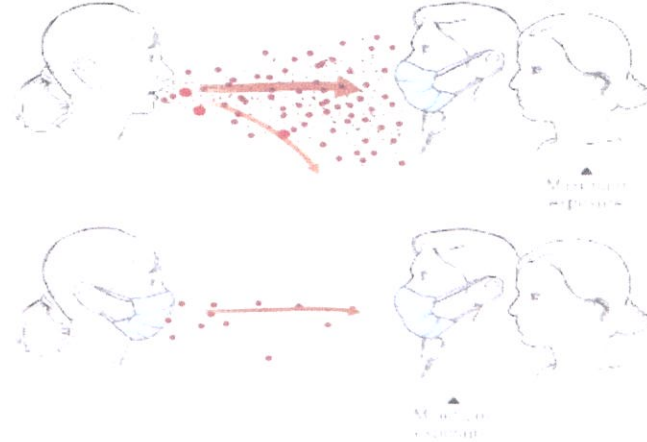
Infectious aerosol particles can be released during breathing and speaking by asymptomatic infected individuals. No masking in asymptomatic individuals where asymptomatic masking results in the least exposure.

Particle size (μm)



Infected, asymptomatic

Healthy

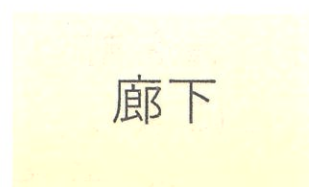
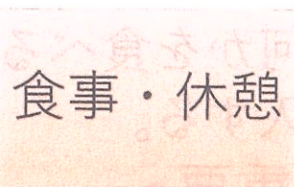


© 2019 THE UNIVERSITY OF CHICAGO

マスクを外す場面がハイリスク

スタッフにとってのハイリスク場面

- 親しい人（スタッフ同士）と会うとつい気がゆるみ、マスクを外したりする。



患者さんにとってのハイリスク場面

- 相手がマスクをせずに話をしてくる。
- 耳の聞こえが悪いからと、マスクを外し話かけてくる。
- 集団での食事。

直接、鼻・口から入ってくるウイルスを少なくする（飛沫感染）

- サージカルマスクの着用
- お互いがマスクを着用することで、直接、鼻・口から入ってくるウイルスが少なくなる。

手を通じて侵入するウイルスを少なくする

- 環境、物などにウイルスは付着する。それを触った手にウイルスが付着する。しかし、皮膚から体内には入らない。
- 手指衛生していない手で、「目や鼻を触る」、「その手で何かを食べる」ことにより、自分の体内に侵入する。

～手指衛生は非常に重要～

手袋はピンホール（穴）があるので、侵入する手袋を外した時に手を汚染させる。

PPEを外した時に必ず手指衛生を！

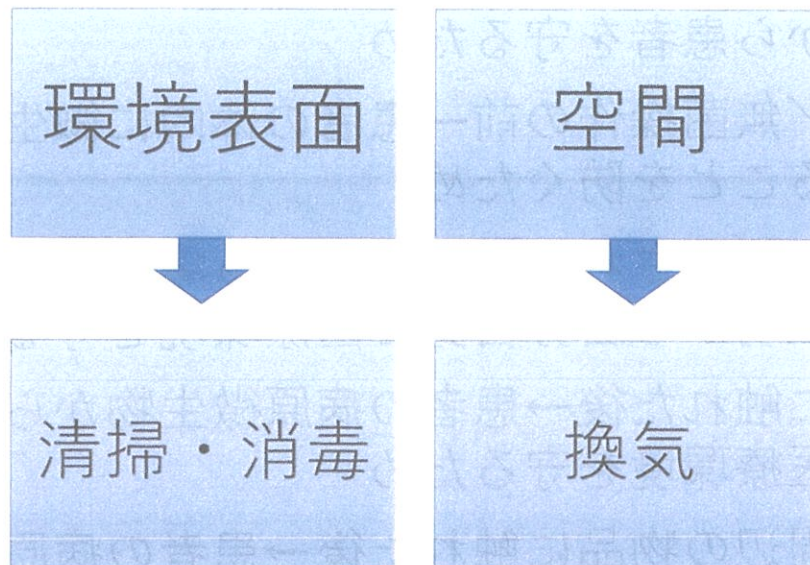
WHO手指衛生5つのタイミング

- 患者に触れる前→手指を介して伝播する病原微生物から患者を守るため
- 清潔／無菌操作の前→患者の体内に微生物が侵入することを防ぐため
- 体液に曝露された可能性のある場合→患者の病原微生物から自分自身と医療環境を守るため
- 患者に触れた後→患者の病原微生物から自分自身と医療環境を守るため
- 患者周辺の物品に触れた後→患者の病原微生物から自分自身と医療環境を守るため

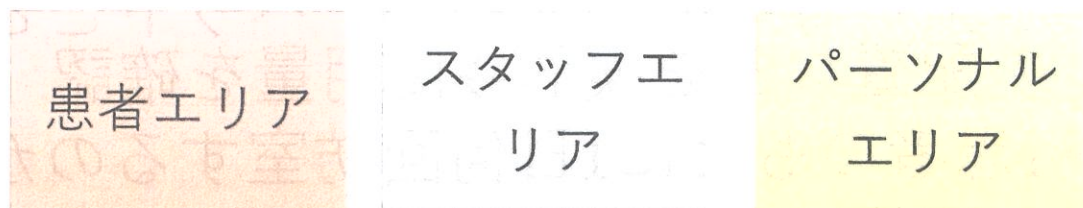
手指衛生がすぐにできる環境かどうかの確認

- 手指消毒剤の個人携帯、ベッドごとの配置などを検討→使用量を確認
- 1患者のもとに1日何回訪室するのか
1回使用量2mlの手指消毒剤の場合
(3回の訪室)
患者に接する前手指消毒剤、
接した後を流水と石鹼
手指消毒剤6ml使用

環境にいるウイルスを少なくする



環境表面の清掃と消毒



- いつ、だれがどのようなものを使って日常清掃しているのかをまず確認する。
- 1日1回は清掃する。
- 汚れを取る、消毒する→環境クロスの使用を検討

患者エリア

- オーバーテーブル、ベッド柵、床頭台、ナースコール、ドアノブ、モニター、サクシヨン・酸素などの操作ボタン→多くの人々が接触する場所

スタッフエリア（休憩室含む）

- 作業台・机（すべて）
- 流し台
- 電話
- ナースコールボード
- 電子カルテキーボード
- モニタータッチパネル

など

パーソナルエリアは自分でも実施する

もし、新型コロナウイルスの患者が発生したら・・・

まずはスタッフ全員で、環境の一斉消毒をして下さい。

空間一換気

- 換気回数を確認
- 窓のある部屋は窓をあける（短時間）→マスクを外す場所

物の処理

下記の体液・排せつ物が付着したものの取り扱いは？

唾液

鼻汁

喀痰

便

口腔ケアに使用したもの

口腔ケア時に使用するガーグルベースン、
歯ブラシ（スワブ）、カップ、
口を濯いだ水、ティッシュの取り扱い



口を濯いだ水を流しに捨て、ガーグル
ベースンを洗淨・消毒する
歯ブラシ・カップは洗淨

ウイルスが拡散するリスクが高い

流しに捨てる



流し内をその都度きれいに洗浄はしない。

流し周辺に飛び散る



シンク内にウイルスが残る、流し周辺が汚染



そのシンクで手を洗う、器材を洗浄した時に

跳ね返りが手や器材付く

拡散するリスクを少しでも少なくする。

- ガーグルベースンにビニール袋をかけて使用する
- すすぎ用の水は必要以上に準備しない
- 歯磨きの後は1回のすすぎ
- 口の周りを拭いたティッシュは、ビニール袋に入れ、袋を縛り捨てる
- ガーグルベースンは環境クロスで清拭し、次のために新しいビニール袋をかけておく

歯ブラシは？自立している人は？

スタッフステーション内の流しでの拡散を
少なくする